

指定管理医療機器 皮膚赤外線体温計  
非接触赤外線体温計 FLIRSTP-300  
Android用アプリ「FLtaion」取扱説明書  
Ver.1.00

ダウンロード頂きましてありがとうございました。  
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

Bluetooth 通信機能付

日本製

非接触赤外線体温計  
Non-Contact Infrared Thermometer

体温管理アプリ  
FLtaion

おでこでピツッ



フィンガリンク株式会社  
Life Science & System's  
Fingal Link

FLIRSTP-300  
医療機器承認番号  
227AGBZX00044000

FLIRSTP-300はBluetooth Ver.4.0のSPPを通信に用いています。SPPとはSerial Port Profile（シリアルポートプロファイル）の略称で、2つの機器間のシリアル通信（RS232C）をエミュレートすることができます。SPPを利用することで、無線ということをあまり意識せずに既存のシリアル通信（RS-232C）と同じような感覚でデータ通信が行える（仮想COMポート通信）ため、容易に無線化導入が可能となります。

ここでは、Android用タブレットやスマートフォンを用いた使い方について説明します。  
使用機器

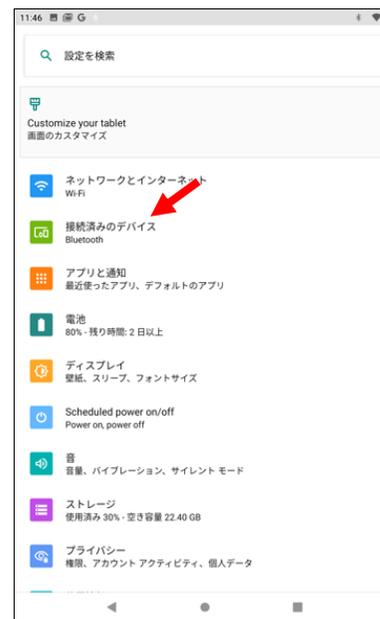
- Bluetooth搭載 非接触赤外線体温計 FLIRSTP-300
- Androidタブレットまたはスマートフォン（以下Android端末とします）

## 1. 体温計アプリのダウンロード

FLIRSTP-300体温計用のアプリFLtaionは、以下のURLまたは2次元バーコードを読み込んでGoogle Playストアからダウンロードしてインストールしてください。

## 2. 体温計のペアリング操作（Android端末との接続）

始めて接続する場合は以下のようにペアリングを行ってください。



一度「ペアリング済み」になると、Android側も体温計側もお互いのBDアドレスを覚えています。このため別のFLIRSTP-300に換えない限り、毎回ペアリングをする必要はありません。もし別のFLIRSTP-300に換える時は、Dual SPPを選択し、「デバイスの削除」を行ってから、もう一度新しいFLIRSTP-300でペアリングをしてください。1台のAndroid端末には1台の体温計だけしか接続できません。体温計を換える都度、ペアリングを行う必要があります。

体温計の向かって右側にある「接続ボタン」を押すと、アンテナマークが点滅します。ペアリング中はアンテナマークが点滅している必要があります。アンテナマークが消えてしまったらもう一度押してください。



Fig.3 接続ボタンとアンテナマーク

すると Android 端末側に Fig.4 のように「Dual SPP」と表示されます。これをクリックすると、Fig.5 のように「Dual-SPP をペアに設定しますか?」と聞いてくるので、☑を入れて「ペア設定する」をクリックします。

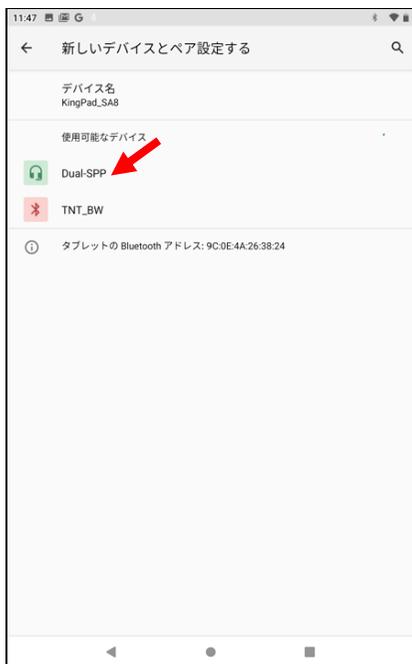


Fig.4 体温計の「Dual SPP」をクリック



Fig.5 デバイスのペアリング

### 3. 体温計アプリの起動

Fig.6 のように、ダウンロードした「FLtaion」をクリックします。すると Fig.7 のような起動画面が数秒間表示された後に、次に Fig.8 のカレンダー画面が表示されます。



Fig.6 アプリの起動



Fig.7 起動画面

ここで Fig.8 右下の ⊕ ボタンをクリックします。すると Fig.9 の接続画面になります。体温計と接続するためには、「接続ボタン」を押してください。ペアリングが成功している場合は、ピッと音が鳴って体温入力画面に変わります。

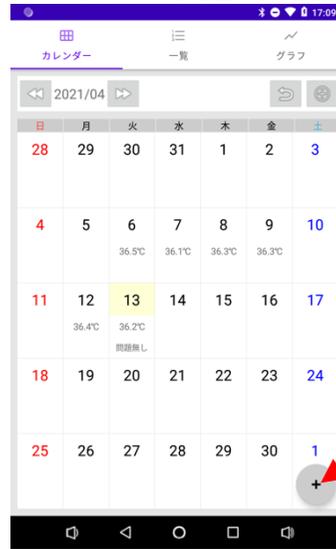


Fig.8 カレンダー画面



Fig.9 接続画面

## 4. 体温の入力

### • 体温の手動入力

体温計をお持ちで無い場合は、手入力によって値をいれることができます。

この場合は、Fig.9「手動で体温を入力」をクリックすると、Fig.10のように、ソフトウェアキーボードによって数値を入力できます。まだFLIRSTP-300体温計をお持ちでない場合はテストとしてご利用いただけます。

体温計の測定ボタンを押す度に、画面に体温が表示されます（Fig.11）。ここで「保存」ボタンを押すと体温が測定時間と共に記録されます。



Fig.10 手動による体温入力



Fig.11 体温計から測定値の読み



Fig.12 コメント入力



Fig.13 コメントの入力

### • コメント入力

現在の症状などのコメントを入力する場合は、Fig.12「メモ：症状等」をクリックします。

すると、ソフトウェアキーボードが開いて（Fig.13）、「寒気がして、少し咳が出る」とか、「頭が痛い」とか、任意のコメントを入力することができます。

ここで「保存」ボタンを押すと体温とコメントが測定時間と共に記録されます。記録が終わるとカレンダー画面（Fig.8）に戻ります。

## 5. 一覧表の表示

カレンダー画面（Fig.8）上部の「一覧」をクリックすると、今までの測定結果がコメントと共に表示されます（Fig.14）。

- 表示期間は左上の 年/月/日 を調整します（Fig.14）。
- 画面右の+ボタンを押すと、「表示日数」が変更できます（Fig.15）。



Fig.14 測定結果の一覧



Fig.15 「表示日数」の変更



Fig.16 一覧表示オプション

• 「高温のみ」をオンにすると、37.5°C以上の結果が表示されます。

• 「メモ無し省略」をオンにすると、コメントの無いところの行を詰めて表示します。



Fig.17 特定の記録の削除

一覧表示の中で、重複していたり削除したい記録がある場合は、削除したい記録の上をセレクトして、長押ししてください。すると、Fig.17 のように「削除確認 選択した測定結果を削除しますか？」に対して「はい」を選択すると、その記録を削除できます。一度に複数の記録を削除することはできません。一つずつ消去してください。

## 6. グラフ表示

カレンダー画面 ( Fig.8) または一覧画面 ( Fig.14) において、上部の「グラフ」をクリックすると、今までの測定結果がグラフで表示されます ( Fig.18 )。

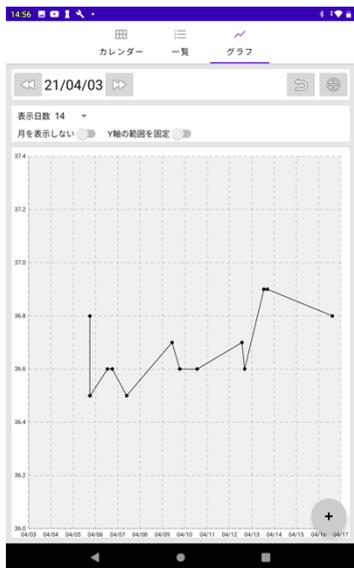


Fig.18 グラフ表示

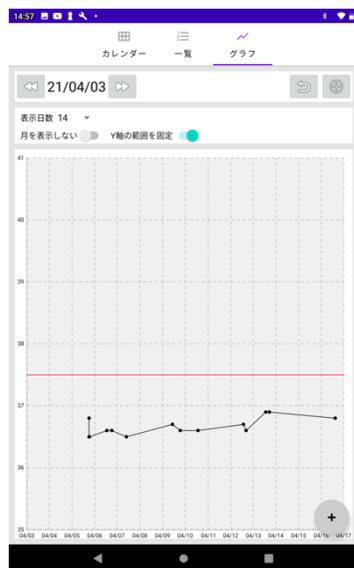


Fig.19 グラフ表示軸固定

- 7 -

## 7. カレンダー画面

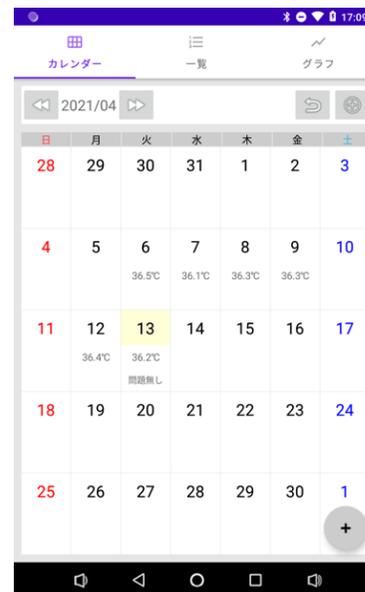


Fig.20 カレンダー表示

多くのデータが入力されると、カレンダー画面にはその日1日の最後の体温とコメントが表示されます。

• 画面右の+ボタンを押すと「表示日数」を変更できます。

• 「月を表示しない」をオンにすると、横軸の月日表示が日にちだけになります。

• 「Y軸の範囲を固定」をオンにしますと、縦軸の温度表示範囲が35~41℃固定になり、37.5℃の処に赤線が引かれます。これ以上が「発熱」となります ( Fig.19)。

総販売元： **フィンガルリンク株式会社**

住 所： 〒111-0041  
東京都台東区元浅草2-6-6  
東京日産台東ビル5F  
TEL：03-6802-7145（代表）  
FAX：03-6802-7156

受付時間： 月~金 AM9:00~12:00 PM1:00~6:00  
（祝日、弊社休業日を除く）  
mail：info@finggal-link.com  
Web：www.finggal-link.com